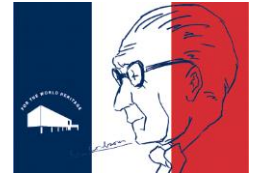


世界遺産登録推進NEWS



国立西洋美術館を世界遺産に！
For The World Heritage!



【発行】2013(平成25)年10月 台東区世界遺産登録推進室 TEL03-5246-1082

ホームページ二次元コード
(スマートフォン対応) ⇒



世界遺産区民講座を開催しました！

親子の建築教室 8月10日(土曜日)開催 場所：台東区生涯学習センター

本講座では、国立西洋美術館の設計者ル・コルビュジエ(フランス人建築家)に関連した講義「ル・コルビュジエの建築～幾何学と身体(寸法)～」と講義の内容を踏まえた簡単な工作を行いました。

当日は、講師に神戸芸術工科大学教授の鈴木明氏をお迎えするとともに、補助スタッフとして都立蔵前工業高等学校建築科の皆様にご協力いただきました。

受講された皆様からは、「建築がとてもおもしろく感じました」、「親子で何かを作る体験が出来て良かったです」、「工作がとっても楽しかった。家でもやってみたい」、「世界遺産に登録して台東区にも世界遺産ができてほしいです」、「また参加したい」などの感想をいただきました。



講義の様子



工作の様子

けんちく体操 9月23日(月曜日・祝日)開催 場所：国立西洋美術館



ロンシャンの礼拝堂を模写



国立西洋美術館を背景に集合写真

9月23日(月曜日・祝日)、国立西洋美術館にて世界遺産区民講座「けんちく体操ワークショップ in 国立西洋美術館」を開催しました。当日は、チームけんちく体操の皆様(米山勇氏・高橋英久氏・田中元子氏・大西正紀氏)を講師にお迎えし、ル・コルビュジエの建築作品をはじめ、スライドに映る様々な建築物の体操(模写)を行いました。

受講された皆様からは、「とても楽しかった」、「家族で楽しく参加できた」、「また参加したい」などの感想をいただきました。

今後も様々な世界遺産区民講座の開催を予定しております。詳しくは広報たいとうや区のホームページ等でお知らせいたしますので、皆様ぜひご参加ください。

JR上野駅ステーションギャラリー2階でパネル展を開催しています！

9月28日(土曜日)から10月31日(木曜日)まで、JR上野駅 Break ステーションギャラリー2階で「ル・コルビュジエと国立西洋美術館」をテーマとしたパネル展示を開催しています。

今回のパネル展では、建築家ル・コルビュジエのプロフィールや世界遺産に推薦する経緯等を紹介しています。また、DVD「ル・コルビュジエと国立西洋美術館」の放映、各種パンフレット等の設置も行っておりますので、ぜひお立ち寄りください。

ぜひ見に来てね！



コルビおじさん



世界遺産ってどんなもの？～世界遺産委員会編～

世界遺産委員会とは？

- ◆世界遺産条約（世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約）の運用に責任を持つ政府間委員会
- ◆開催時期：毎年1回、6月～7月頃。
- ◆開催場所：毎回異なり、世界遺産委員会で次（来年）の開催地決定。
- ◆構成：世界遺産条約締約国の中から選ばれた21の委員国によって構成。委員国は公平性を保つため持ち回り。任期は最大6年だが、紳士協定により自主的に4年に短縮。現在、日本も委員国（3度目、任期は2015年まで）。
- ◆主な審議内容：
 - ・世界遺産リストへの登録の可否について（各国が推薦した候補物件を審査）
 - ・世界遺産の保護状況について（調査・各国からのレポートを審査）
 - ・危機にさらされている遺産リストについて

来年 2014 年はカタール国のドーハで開催されるんだよ！



世界遺産最新情報

日本政府は、再来年の2015年の世界遺産委員会に向け、「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」を世界文化遺産として推薦することを決定しました。

本件は、幕末から明治にかけての重工業の発展を示す28の資産で構成されており、資産の所在地も九州から東北にかけて8県（岩手、静岡、山口、福岡、熊本、佐賀、長崎、鹿児島）に及んでいます。八幡製鉄所（北九州市）や長崎造船所（長崎市）など、現在も稼働中の工場や港湾を含んでいることが特徴です。

文化遺産への各国の推薦枠は年1件で、推薦枠を「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」（長崎県、熊本県）と競合していましたが、産業革命遺産は岩手県釜石市の資産を含んでおり復興支援に貢献すると考えられた点や、稼働中の民間企業による大規模な工業関連施設の登録が世界にも例のない件であったことが考慮されました。

今年9月に暫定版推薦書をユネスコ世界遺産センターに提出し、諮問機関のイコモスの現地調査を経て、2015年の世界遺産委員会で登録の可否が審査される予定です。

なお、来年の2014年の世界遺産委員会では、「富岡製糸場と絹産業遺産群」が審議予定です。

資産の所在地
地図



国立西洋美術館からのお知らせ

国立西洋美術館ホームページ⇒ <http://www.nmwa.go.jp/jp/>

■「ソフィア王妃芸術センター所蔵

内と外—スペイン・アンフォルメル絵画の二つの「顔」展が開催されます！

10月3日（木曜日）～2014年1月5日（日曜日）まで、国立西洋美術館 新館展示室で、2013～14年に実施される「日本スペイン交流400周年」事業の一環として、「ソフィア王妃芸術センター所蔵 内と外—スペイン・アンフォルメル絵画の二つの『顔』」展が開催されます。

20世紀美術史における最も重要な運動の一つとなったアンフォルメル（不定形）絵画のスペインにおける展開を、同国を代表する現代美術館であるマドリードのソフィア王妃芸術センターの所蔵品14点により紹介します。

詳しくは、こちら ⇒ <http://www.nmwa.go.jp/jp/exhibitions/2013artinformel.html>